

ストラスブールでの滞在を終えて

理学系研究科 化学専攻 博士課程 2年 山田諒

ALPSの海外派遣制度の支援を受け、2016年11月11日から2017年2月1日までの間、フランスのストラスブールに滞在し、Giuseppone教授のグループで研究を行った。研究内容は、人工分子モーターをポリマーに組み込んだゲルの機能化であり、その合成に取り組んだ。本研究では、分子レベルで誘起された単方向回転運動を、ゲルのマクロスケールな収縮として観測することができ、分子機械の応用研究として今後の発展が期待される。

研究室は自由な雰囲気、フランス国内だけでなく、ヨーロッパやアジアから様々な国の学生が所属しており、昼食時やパーティーでは文化の違いを楽しむことができた。また学食では、フォアグラや鳥の丸焼き、ステーキ、そして美味しいデザートを食べることができ、美食の国フランスを実感した。

今後の研究生活にとって、今回の滞在は大変貴重な経験となり、研究内容もそれ以外にも、多くのことを学ぶことができた。このような機会を与え、サポートして下さったALPS関係者の皆様、指導教員の塩谷教授、そして受け入れの許可をいただいたGiuseppone教授とお世話になった研究室のメンバーには心より感謝申し上げます。



街の中心の大聖堂から見下ろしたストラスブールの街並み